

1. 施設運営全般について

資料 4

項目	質問	当市	貴市
(1)	施設運営の組織体制(役割・人数など)について教えてください。	①運営形態:市直営 ②配置人員:会計年度任用職員9名 (交代勤務により常時2名体制) ※9～17時の昼間帯、17時～21時の夜間帯でそれぞれシフト制。	
(2)	施設の開館時間について、夜間(17時以降)の利用はどの程度ありますか。直近1年の実績を教えてください。※分かる範囲で結構です	①開館時間: (月)～(土) 9時～21時 日・祝休日 9時～17時 ②休館日:12月29日～1月3日 ③実績(R5.4～R6.3) 総利用者数:12,240人 昼間帯 :8,951人 夜間帯 :3,289人 (26.9%)	
(3)	(2)に関連し、ニーズ調査などを実施したことはありますか。	未実施	

2. 窓口での相談対応について

項目	質問	当市	貴市
(1)	相談員をどのように採用・育成していますか。	窓口は会計年度任用職員のみで、相談は軽微なもののみ対応。必要に応じて課に繋いでいる。 ※採用・育成は行っていない。	
(2)	団体から個人まで、幅広い対象者にとって気軽に相談できるよう何か工夫していますか。	サポートセンター登録団体の一部で構成する運営協議会の委員と協働で、月2回の「市民活動何でも相談窓口」を開催。 しかし、(1)の理由から、ワンストップ対応は難しく、当窓口のセンター施設内での周知等も十分出来ていないことが課題。	
(3)	FAQ整備やAI活用など、効率化のために実施していることがあれば教えてください。	未実施	
(4)	窓口でのワンストップ対応とは別に、個別の相談内容(会計、労務など)に応じて専門家へ繋ぐなどの体制はありますか。	専門家へ繋ぐ体制づくりは出来ていない。	
(5)	施設の市民の認知度はどの程度ですか。アンケート結果など指標があれば教えてください。また何か認知度を高める工夫はしていますか。	令和5年度市民意識調査で、市民の当市センターの認知度は17.2%と低い。直近ではSNSや市広報等で周知を図っている。	

3. 「コーディネート(※)」について

※ボランティア希望者と活動場所や団体の仲介、団体間の情報共有、活動協力や、行政・企業と市民活動団体の架け橋になるようなサービス

<市民活動センタープラッツあて>

項目	質問	当市	貴市
(1)	コーディネーターを配置または同等の職務を行う人員を配置していますか。	課の職員が必要に応じて対応している。	
(2)	コーディネーターの職務はどのような内容ですか。事務(バックオフィス)とはどのように役割分担していますか。	—	
(3)	コーディネートをする際のリスク対応(公平性の担保、責任(トラブル防止)はどのようにされていますか。ルールなどあれば教えてください。	課の職員が対応する際は、特にルールはないが、繋ぐ先の了解を得る等事前に確認した上で実施している。	
(4)	コーディネートに必要な情報(団体情報や人脈)は、どのように確保していますか。また、データベース化などはしていますか。	課の職員の職務を通じての人脈や経験に基づいて対応している。何でも相談の対応履歴はデータベース化している。	

4. 広報・PRについて

項目	質問	当市	貴市
(1)	広報誌の発行頻度とページ数を教えてください。	センターだより「しみんりよく」年4回、4ページ(A3 1つ折り)	
(2)	広報誌の効果測定を実施していますか。実施している場合はその方法を教えてください。	未実施	
(3)	広報誌のターゲット読者層(年代や団体、個人等)を教えてください。また、編集方針があれば教えてください。	明確なターゲット設定や編集方針はない。	

(4)	広報全般において、技術面、作業量面での人材確保・育成および役割分担について教えてください。 (例:専任者の設置、外部委託等)	課の職員とサポートセンター運営協議会委員との協働で実施。 ①運営協議会委員の役割 ・広報誌の紙面構成の検討、校正の意見出し、掲載団体への取材 ・SNSアカウントの管理・情報発信 ・協働企画事業のチラシ原稿作成等 ②市の役割 ・広報誌の印刷業者との校正連絡、掲載団体との調整 ・SNS発信内容の確認・決裁 ・その他市広報や市公式SNS(X、LINE)、団体へのメール案内等を通じた広報全般	
(5)	市の広報や、生涯教育施設等の他公共施設、地元メディアなどと連携して実施していることがあれば教えてください。	・情報誌等:公共施設への配架 ・SNS:サポートセンター運営協議会アカウントのX配信⇒市公式SNSへのリポスト依頼 ・市主催事業等の地元メディアへの掲載依頼 等を実施している。	
(6)	市民活動センター内に掲示するイベントや補助金等の情報(チラシ・ポスター等)について、市民が情報を探しやすいよう、掲示のルールなどがあれば教えてください。	補助金情報コーナーを設置している他、チラシ等は新しい情報が掲示されるよう、掲示期間を最長3か月と定めている。また、団体、行政、社会福祉協議会などのカテゴリー別に掲示。	
(7)	WEBサイトやSNS(X)での情報発信において、情報量の確保や必要な人に届けるという観点で何か工夫されていますか。	発信内容は課主催事業の告知・報告の他、運営協議会委員の団体取材内容などがメインで、情報の質・量ともに課題。	
(8)	(7)に関連し、ニーズ調査などを実施したことはありますか。あれば状況を教えてください。	未実施	
(9)	市民活動センターが企画・開催するイベントや講座について、どのようなものを実施されていますか。PR方法も含めて教えてください。	センターが直営のため、主に以下のイベントを市主催事業として運営協議会との協働で実施。 ①団体向け講座 ②市民向けワークショップ <PR方法>市広報、市公式SNS(X、LINE等)運営協議会アカウントX、公共施設へのチラシ配架、登録団体への直接メール案内、他	

5. その他

項目	質問	当市	貴市
(1)	利用者の増加に向けて取り組んでいることがあれば教えてください。	・情報収集スペースの設置や団体活動のマンスリーパネル展を開催。 ・一般市民向けワークショップなどのイベント開催	
(2)	センターの機能や役割について、特徴的な取組や今後さらに力を入れていきたいと考えていることを教えてください。	相談対応やコーディネート機能が課題と捉えており、今後力を入れたいと考えている。	
(3)	センターの「目指すべき姿」やそれを実現する計画、またそれを具現化するための組織内の目標設定などがありますか。	市民活動サポートセンターの目指すべき姿などを示しているものは現状ない。センター登録団体数を市実施計画における1つの指標としている。	

1. 推進体制について

項目	質問	当市	貴市
(1)	貴課の組織体制について教えてください。(職員配置等)	配置人員:課長、課長補佐(市民協働係)係長1名、係員2名、会計年度任用職員2名 ※他に男女共同参画係、男女共同参画センターを所管し、課長が両センター所長を兼務	
(2)	貴課の主な担当業務を教えてください。	・市民活動フェアの実施 ・夏のボランティア体験の実施 ・市民公益活動公募型支援事業の実施 ・市民活動総合補償制度の運営 ・市民活動サポートセンターの管理・運営 ・同センター運営協議会の運営 ・同協議会各部会の開催・運営および協働による事業の実施 ・市民活動ボランティアスタートアップの実施 ・ふなばし市民力発見サイトの運営 ・情報誌「しみんりょく」の発行 ・何でも相談窓口の実施 ・市民協働推進委員会の運営(今後)	
(3)	市民活動の活性化や市民協働の推進に関する庁内の連携体制や職員育成はどのようなになっていますか。役割分担も含め教えてください。 課、市民活動センター、庁内他課および他施設(文化センター、他公共施設)など	・課長補佐職を充て職とした「市民協働推進員」制度があるが、ほぼ実働していない。 ・市民活動サポートセンター運営協議会に、市ボランティアセンターや社会教育課などにオブザーバー参加してもらっている。 ・年に1回、中堅職員向け協働に関する研修を開催、他新規採用職員1年目、2年目に研修を実施	

2. 基本方針について

項目	質問	当市	貴市
(1)	協働推進の根拠は、令和4年4月「府中市市民協働の推進に関する基本方針」であるという認識でよろしいでしょうか。また、条例や計画について、現時点での有無および検討状況について教えてください。	船橋市市民協働の指針(平成30年3月改定)による。現在指針の改定を検討している。 条例・計画は現時点で整備されておらず、検討も行っていない。	

(2)	(1)に関連して、現時点での課題やその改善のために検討している内容があれば教えてください。	指針の改定と協働の進行管理・推進を行うにあたって、議論の場を設定する必要があり、第三者機関を設置することを検討している。	
(3)	「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を策定された際の、苦勞した点や反省点などがあれば教えてください。	—	

3. 市民活動・協働の概況について

項目	質問	当市	貴市
(1)	現時点で把握している団体数(任意団体含む)を教えてください。	①サポートセンター利用登録団体数:408団体(R6.3月末時点)	
(2)	市民活動やボランティアに関する市主催のイベント(市民活動センター主催のものを除く)の実施状況を教えてください。また、民間主催のイベント等で把握しているものがあれば教えてください。	①ふなばし市民活動フェア(年1回):実行委員会形式(毎月実施) 内容:団体の活動を紹介し、広く市民一般に活動のきっかけを提供 ②夏のボランティア体験:運営協議会、東邦大学ボランティア部、ボランティアセンター共催 内容:中学生以上の学生を対象としたボランティア体験事業 ※民間は未把握	
(3)	団体間および団体企業間の連携実績について、市で把握していれば教えてください。(件数、内容など)	未把握	
(4)	包括連携協定先にとの協定締結状況について教えてください。	包括連携協定:22(企業、教育機関、プロスポーツチーム等)	

(5)	包括連携協定先以外の企業との連携実績を把握していれば教えてください。(件数、内容など)	17の事業で協働事業を実施。	
(6)	「共創の窓口」の実施内容および実績について教えてください。	未実施	

4. 市民活動に関する補助金について

項目	質問	当市	貴市												
(1)	市民活動に関する補助金の事業内容について概要を教えてください。	I 型:「公益的な1つのイベント」を対象に、費用の90%を支援(初年度) II 型:「一連の公益的な活動」を対象に、費用の60%を支援(初年度) ※いずれも3年を限度に、補助率を年度あたり10%ずつ通減													
(2)	市民活動に関する補助金の過去3年の交付実績を教えてください。(件数、内容など)	交付件数(R6は交付予定)の概要は以下のとおり。 <table><tr><td></td><td>I 型</td><td>II 型</td></tr><tr><td>R6</td><td>17件</td><td>0件</td></tr><tr><td>R5</td><td>9件</td><td>2件</td></tr><tr><td>R4</td><td>5件</td><td>2件</td></tr></table>		I 型	II 型	R6	17件	0件	R5	9件	2件	R4	5件	2件	
	I 型	II 型													
R6	17件	0件													
R5	9件	2件													
R4	5件	2件													
(3)	補助金事業の現時点での課題や、改善のために検討している内容があれば教えてください。	<課題> ①補助率の高い I 型にニーズが集中している ②件数が増加しており審査の効率化が課題 ③団体の書類提出などの負担 <検討> ①は継続検討課題 ②は申込様式と審査書類の内容を共通化する等の工夫により、事務局と審査委員双方の負担軽減を図る ③団体への書類提出依頼回数の削減													

5. その他

項目	質問	当市	貴市
(1)	今後市民活動の活性化や市民協働の推進において、どのような点に力を入れていきますか。	協働推進のための第三者機関を設置し、市民協働の指針の改定や、協働の進行管理・推進を強化していく。また、サポートセンターの機能強化を図っていく。	